

ノロウイルス拡散防止のための安全な吐物処理方法

吐物処理手順



1
作業を始める前に、腕まくりし、腕時計、指輪等は外す。よく手を洗う。
使い捨てのマスク、使い捨てのエプロンを着用する。

吐物処理で用意するもの

汚物処理キット

- | | |
|-----------|----------|
| 使い捨て手袋 2組 | ビニール袋 2枚 |
| 使い捨てエプロン | 使い捨てマスク |
| 不織布タオル | ペーパータオル |

塩素系漂白剤 バケツ

調理従事者は処理を控えて下さい。

消毒薬の調整



①
ノロウイルスの消毒は、消毒用アルコールは効きにくいので、塩素系漂白剤（塩素剤）で行います。
塩素濃度が0.05-0.1%になるようにして使用します。



②
市販の塩素剤の多くは、塩素濃度が約5%ですので、50-100倍に希釈して使用します。希釈の目安としては、500mlのペットボトル1本に、ペットボトルのキャップ1-2杯の塩素剤を入れると簡単です。



2
ビニール袋の口を開けておきます。
ゴミ入れなどにビニール袋を入れて口を広げておくと使いやすいです。



3
吐物や消毒液が直接触れぬよう、使い捨て手袋を2重に装着する。



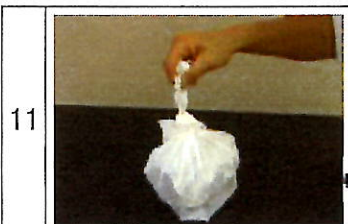
4
吐物中のウイルスが飛び散らないように、汚物全体をペーパータオルで覆い、その上に塩素剤を静かに撒く
使い捨ての不織布タオルで外側から内側に向けて、嘔吐物を救い上げ、一時回収のビニール袋に入れる。



5
塩素剤を50-100倍に薄めた液（消毒液）をペーパータオル等に染みこませ、拭き取ります。



6
吐物のあった周辺は、できるだけ広い範囲を消毒剤で拭き取り、一時回収袋に入れる。
塩素は金属腐食性がありますので、拭き取った場所が金属の場合は、10分程度時間を置いてから、水拭きします。



11
内側を触らないようにして口を縛り、捨てます。
必ず処理の最後には石けんでよく手を洗ってください。



10
使い捨てマスク、エプロン、内側の使い捨て手袋を裏返ししながら脱ぎ入れます。



9
ナイロン袋に、口を閉じた一時回収袋を入れます。



8
一時回収袋の口をしっかり縛ります。



7
拭き取ったペーパータオル並びに外側の使い捨て手袋を入れ、その上に塩素剤を入れ浸します。